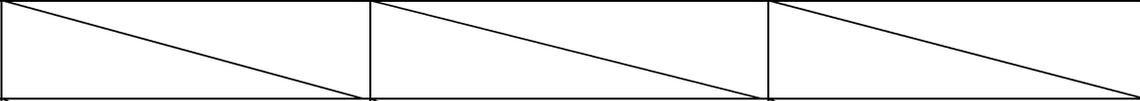
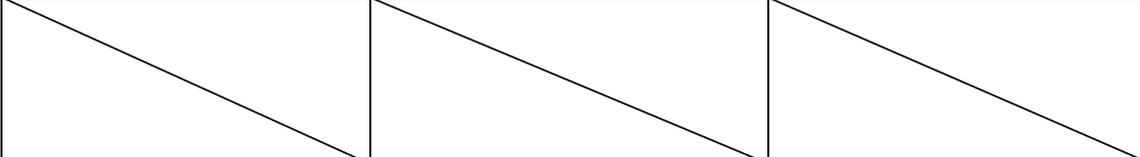


令和4年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立湖南小学校

<本年度の重点目標>

主体的、協働的に学んでいく子供の育成

<p>前年度の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する達成目標や方策について焦点化して当たるとよい。</li> <li>・挨拶を「自分から進んで行う」ことができる子供を目指していきたい。そのために、子供自身が「進んで挨拶するよさ」を捉え、自己有用感や自尊感情を高めることができる集団活動や評価の在り方を考え、指導していく必要がある。</li> <li>・週末読書を奨励し、毎週じっくりと本に触れる機会を設定してきた。加えて、図書館司書に本の紹介や読み聞かせをしてもらう機会を設けることにより、児童の本への理解や興味・関心が高まってきている。そこで、さらに発達段階に応じた良書に接する習慣化を図ることで、学力向上につなげていく。</li> <li>・メディアの利用時間の目当てをもたせたり、メディア利用に関する指導を全体や個別で行ったりして、児童・保護者共にメディアの利用時間を減らそうという意識を高めていく必要がある。児童自身が、自分のメディア利用の仕方について見直し、規則正しい生活習慣を身に付けることができるように手立てを工夫する必要がある。そして、小中連携の在り方を見直し、コロナ禍等でも有効な方法を工夫していく。</li> </ul>		
<p>具体的な達成目標 (数値目標)</p>	<p>&lt;生徒指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶や場に応じた正しい言葉遣い」ができたと答える児童が90%以上になる。</li> </ul>	<p>&lt;学習指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で設定したおすすめの本を1年間で、低学年60冊、中学年45冊、高学年30冊読書できた児童が、80%以上にする。</li> </ul>	<p>&lt;健康な体づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアコントロール週間中に利用時間(120分以内一休日において180分以内)を守ることができる児童を80%以上にする。</li> </ul>
<p>行動Ⅰ (方策)</p>	<p>&lt;方策1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級において、道徳や学級活動等で「挨拶や場に応じた正しい言葉遣い」について話し合い、挨拶運動を通してよりよい挨拶の習慣化を図る。</li> </ul> <p>&lt;方策2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に一度、全校で一斉に「ほかほか週間」を実施し、全体の意識を高める。</li> </ul>	<p>&lt;方策1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館司書とともに、低・中・高学年用の推薦図書を選び、図書室や学級文庫にコーナーを設定する。</li> </ul> <p>&lt;方策2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して、読んだ本の冊数を記録するカードの作成・活用をし、よりよい読書習慣が身に付くようにする。</li> </ul>	<p>&lt;方策1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアコントロール週間を設定し、「利用チェックカード」を活用し、メディアとの関わり方を見直すことができるようにする。</li> </ul> <p>&lt;方策2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級指導や個別指導を充実させたり、家庭への啓蒙を図ったりして、メディアと適切に関わることができるようにする。</li> </ul>
<p>中間評価</p>			
<p>行動Ⅱ (方策)</p>			
<p>年度末評価 (学校関係者評価を含む)</p>			
<p>次年度への課題</p>			